

# 伝える力を磨き、絆を深める

校内放送やコンクールコンテストへの出場に加え、地域行事にも参加する三重県立名張青峰高等学校放送部。司会として運動会や収穫祭を盛り上げ、学校周辺の住民にとって、親しみ深い存在となっています。

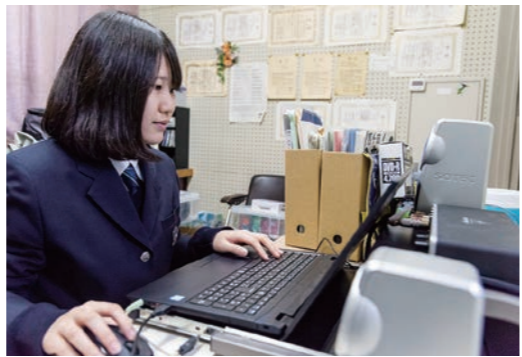
## 思いを込めた作品で大会での入賞を狙う

放送部と聞くと、校内放送を思い浮かべる人が多いのではないだろうか。昼休みにスピーカーから流れる同級生の明るい声に耳を傾けたり、好きなアーティストの曲で友人と盛り上がりたり、学生時代の思い出が、当時の放送と共によみがえるかもしれません。

「学内での放送だけでなく、大会出場にも力を注いでいます」と教えてくれたのは、三重県立名張青峰高等学校放送部・部長の中森渚月さん（2年生）です。主な大会は、NHK杯全国高校放送コンテストや東海ラジオ放送株式会社主催する高等学校ラジオ作品コンクール。中森さんを含めた4人の部員が、平日15時30分から17時30分の2時間、大会に向けて発声や朗読の練習、ラジオドラマ



ナレーションやトーク、映像は専用のパソコンを使って編集。技術は先輩から教わります



音量調整器(ミキサー)は異なる音を混ぜたり、音量の調節をしたりするのに活用します

マの脚本考案に取り組んでいます。「Nコン」と呼ばれるNHK杯全国高校放送コンテストには、アナウンス、創作ラジオドラマ、制作テレビドラマなど複数の部門があり、県大会を突破すると東京都渋谷区にあるNHKホールでの全国大会に出場できます。名張青峰高校は昨年、アナウンス部

門、朗読部門、創作ラジオドラマ部門に出場。中森さんが出場したアナウンス部門は、校内放送を想定して原稿をつくり、審査員や観客の前で読み上げます。テーマの選び方や文章表現、発声、滑舌のよさが評価基準。校内で試験導入された新しいノートパソコンをテーマにした中森さんは奨励賞を獲得しました。「高校生フェスティバル第40回みえ高文祭」で司会を任せられ、今年夏には第44回全国高等学校総合文化祭アナウンス部門への出場も決まっています。創作ラジオドラマ部門では、自分たちで考えた脚本を用います。昨年は、夢に登場した少年が現実世界に現れ、主人公の夢を叶えるという物語で挑みました。



昼の校内放送では、昼食時間をより楽しんでもらえるよう、流行を取り入れた選曲を心がけます

クスを抱えた男子生徒が、周囲に認めてもらうまでの過程を表現しました。「馬鹿にされるのでは」と委縮するのではなく、堂々とやりたいことを楽しめるように、「好きなことは好きと周囲に伝えてもいい」というメッセージを物語に込めました。「ラジオドラマでは、まだ受賞に至っていません」と話すのは、顧問の向山明佳先生。「年々レベルアップしているように感じるので、来年度は「Nコン」も高等学校ラジオ作品コンクールも受賞を狙いたいです」と意気込みます。

## 多様な活動で校内外から頼られる存在に

校内放送や大会出場以外にも、放送部の活動は多岐にわたります。映像制作もしており、今年はいんフルエンザ予防を啓発する映像を手がけました。絵コンテをもとに、自分たちで撮影。その後ナレーションを入れて編集も部員が担当しました。制作を依頼した養護教諭も大満足の出来になったそうです。名張青峰高校は全生徒にタブレット端末が配布されており、放送部の映像は、誰でも閲覧できるようにしています。

学校を飛び出して、地域とも連携しています。名張市のコミュニティFM「ads. FM」では、「スクールオブジョイ」という番組づくりに参加。毎月1回、校内のニュースを伝えていきます。番組は、5分半から7分程度で、取り上げるネタを探し、構成を考えて放送室で収録・編集します。中森さんは、「自分たちのトークが公共の電波にのって地域に伝わっているのは、不思議な感覚です」と照れ笑いを浮かべました。

校舎がある百合が丘地区では、休日に開催される運動会や収穫祭など、地域行事での司会を頼まれることもあります。「行事の盛り上がりに貢献していると、例年依頼をくださいます。地域の方とのふれあいは、普段の学校生活にはない楽しさを感じられるので、これからも続けていきたいです」と中森さんは語ります。校内放送やドラマ・番組制作、大会への出場、地域行事への参加など、

鍛えたアナウンス力、編集技術で大会に挑む  
めざすは、名張青峰高校として初のラジオドラマ部門での受賞



1. 腹筋だけでなく、全身の筋肉を上手く使うのが、聞こえやすい発声のコツです
2. 体育祭でも放送部は大活躍。実況や音楽放送など、音響の手伝いをして競技を盛り上げます
3. 4. 前身の名張西高校時代には、各コンクールでさまざまな賞を受賞。「名張青峰高校として、ラジオドラマでの受賞を実現させたいです」と向山先生



information  
 三重県立  
 名張青峰高等学校  
 名張市百合が丘東6-1  
 TEL 0595-64-1500  
 http://www.mie-c.ed.jp/hseihou/

ラジオドラマの脚本は、好きなアニメや漫画を参考に、アイデアを膨らませて考えています

部長 2年生  
中森渚月さん



多様な活動をする名張青峰高校放送部。アナウンス力や映像制作の技術はもちろん、コミュニケーション能力や実行力、主体性なども育んでいます。中森さんは「将来、放送部での経験を生かした仕事に就きたい」と話し、多くの人との関わりの中で技術を磨いています。